

マンモグラフィと乳腺エコー検査

乳房の検査にはマンモグラフィと乳腺エコー検査があります。

マンモグラフィ



マンモグラフィ検査とは、乳房の X 線撮影のことです。乳がんの初期症状である微細な石灰化や、手で触れてもわからない小さなしこりを発見することができます。

検査では、乳房を板で圧迫しながら撮影を行います。乳房を圧迫する理由は、乳腺の重なりを少なくし、小さな病変を見つけやすくするためです。また、乳房をできるだけ薄くすることで、被ばく線量を少なくすることができます。

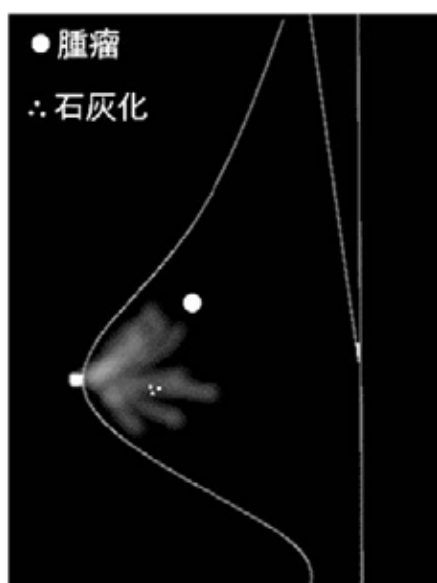
高濃度乳房（デンスプレスト）

乳腺がよく発達した乳房のことです。若年、閉経前、ホルモン補充療法をしている方に多くみられます。マンモグラフィの画像では、乳腺が白く、脂肪が黒く写ります。石灰化や腫瘍も白く写るため、正常な乳腺に隠れてしまい、発見しにくくなります。高濃度乳房の方は、乳腺エコー検査の併用をお勧めします。

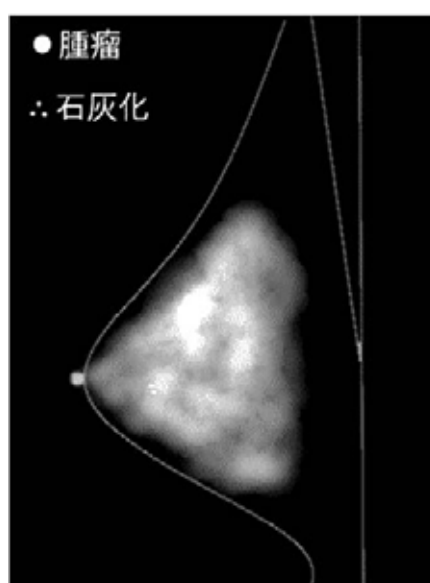
乳腺組織は年齢を重ねるごとに、だんだんと脂肪に置き換わっていきます。

《乳腺濃度による画像の見え方の違い》

脂肪の割合が高い乳房



高濃度乳房



*当院でのマンモグラフィ検査は、にしくほ診療所にて撮影を行います。

放射線技師 緒方 裕子

(次頁「乳腺エコー検査」につづく)